

株式会社ネプロジャパン

2009年3月期(第18期)
第2四半期決算説明会資料
(JASDAQ:9421)

2008年12月2日

代表取締役社長 金井 孟

目次

I . 2009年3月期(第18期)第2四半期決算ハイライト	2
II . 2009年3月期(第18期)通期業績見通し	14
III . 2009年3月期下期の施策について	17
【別冊ご参考資料】	
◆ネプロジャパングループの概要	

I. 2009年3月期(第18期)第2四半期決算ハイライト

1. 第2四半期の事業環境 *Page3*
2. 第2四半期【連結】業績概要 *Page4*
3. 第2四半期【セグメント別】業績概要 *Page8*

1. 第2四半期の事業環境

■ 携帯電話販売市場(移動体通信事業)

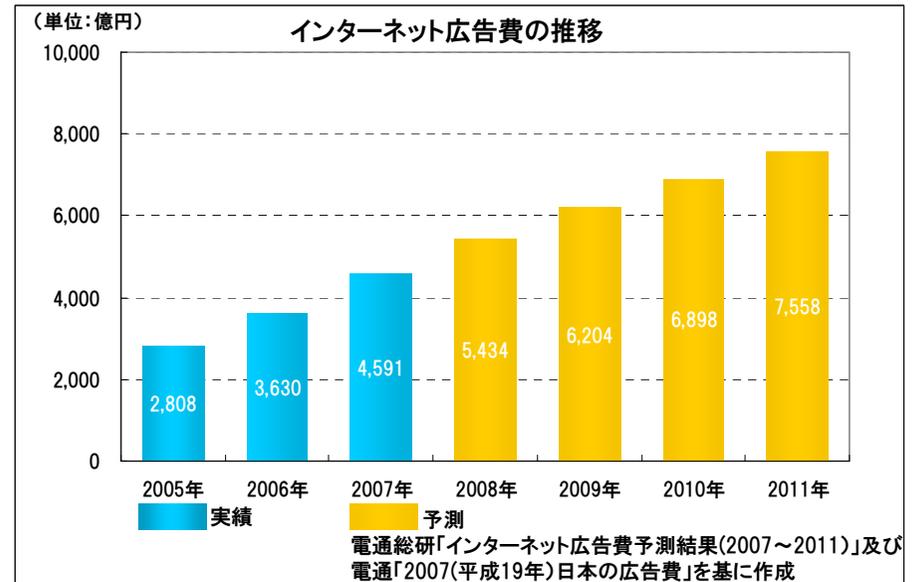
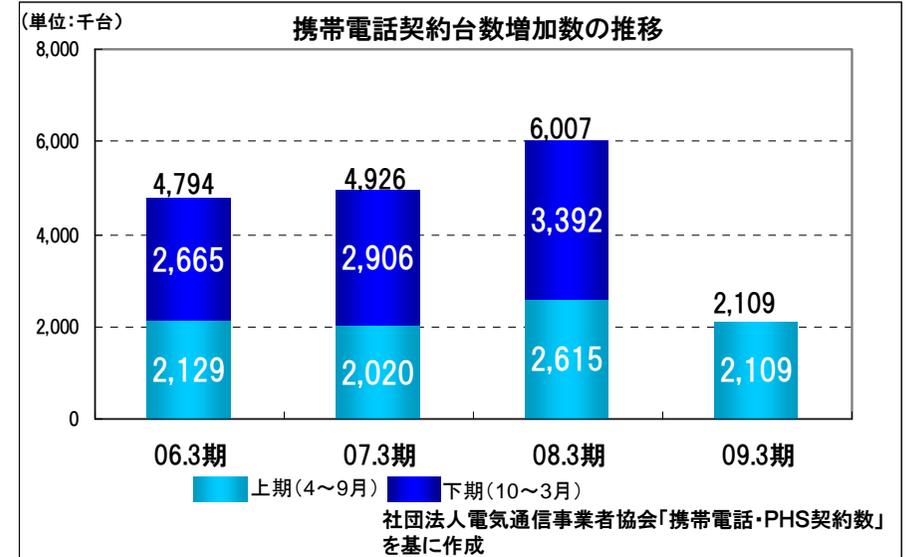
- ・携帯電話端末販売方式の変更により買替需要が減少
- ・一部メーカーは携帯電話市場から撤退
- ・販売代理店同士の競争激化に伴い、再編が加速

■ インターネット広告市場(ネットビジネス事業)

- ・インターネット広告は欠かせないマーケティングツールに、モバイルコンテンツは若者に欠かせない娯楽・情報入手ツールに。
- ・国内IT企業の海外展開が加速

■ IP/セキュリティ市場(IPソリューション事業)

- ・IP市場の高いポテンシャル
- ・情報漏えい、内部統制対策の需要が拡大



2. 第2四半期【連結】業績概要

(1) 【連結】業績サマリー

(単位:百万円)

科目	08年3月期(第2四半期)		09年3月期(第2四半期)			
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	前年同期比	
					増減	増減率(%)
売上高	10,959	100.0	8,332	100.0	△2,627	△24.0
売上原価	8,742	79.8	6,079	73.0	△2,663	△30.5
売上総利益	2,217	20.2	2,252	27.0	35	1.58
販管費	2,065	18.8	2,189	26.3	124	6.0
営業利益	151	1.4	63	0.8	△88	△58.3
経常利益	109	1.0	18	0.2	△91	△83.5
特別損益	△297	—	△42	—	255	—
四半期純利益	△254	—	△29	—	225	—

(2) 【連結】業績総括

 **売上高** ⇒ 前年同期比△2,627百万円 (10,959百万円→8,332百万円)

- 移動体通信事業の売上高は前年同期比△3,006百万円の大幅減少
- ネットビジネス事業の売上高は前年同期比+304百万円の増加
- その他のセグメントの売上高は前年同期比で増加基調

売上総利益額は増加するも、販管費増加により営業利益は減少

- 売上総利益額は前年同期比+35百万円増加
- 売上総利益率は前年同期比で改善 (20.2%→27.0%)
- 販管費は 前年同期比124百万円の増加

 **営業利益** ⇒ 前年同期比△88百万円 (151百万円→63百万円)

- 移動体通信事業の営業利益は、前年同期比△95百万円の減少
- ネットビジネス事業の営業利益は、前年同期比△19百万円の減少
- その他のセグメントの営業損失は、前年同期比で縮小基調

営業外損益 △44百万円

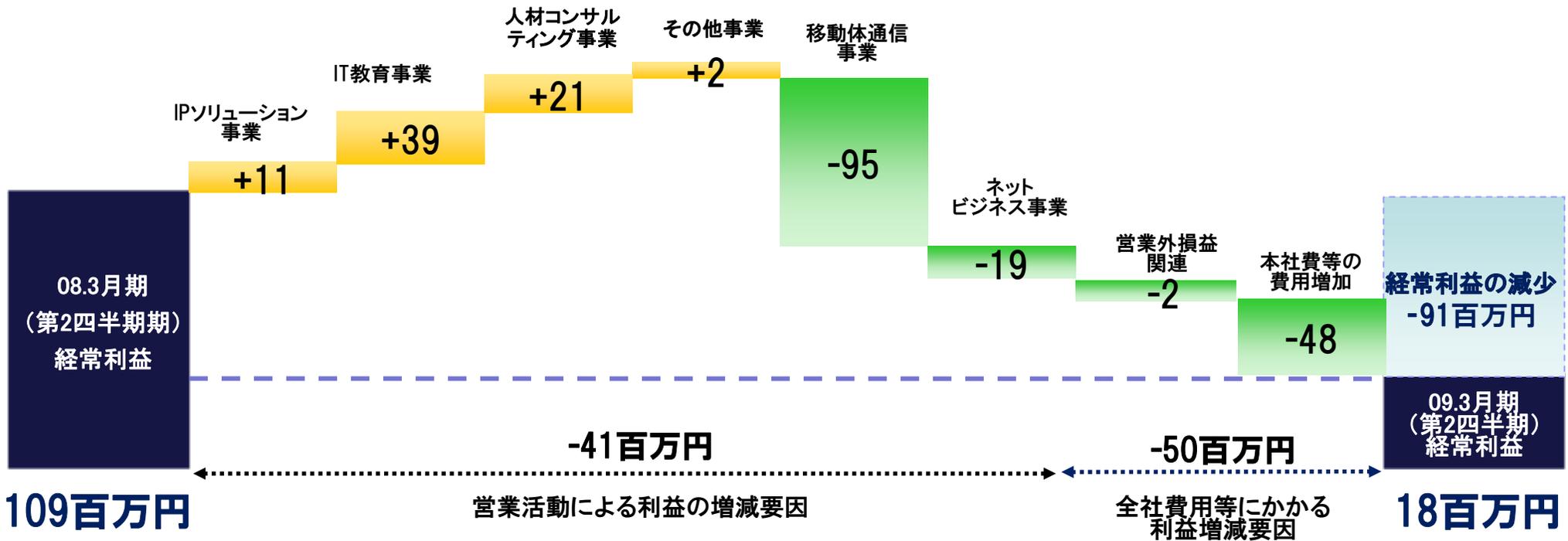
- 営業外損失は、支払利息の増加、持分法による投資損失を計上

 **四半期純損失** ⇒ 前年同期比+225百万 (△254百万円→△29百万円)

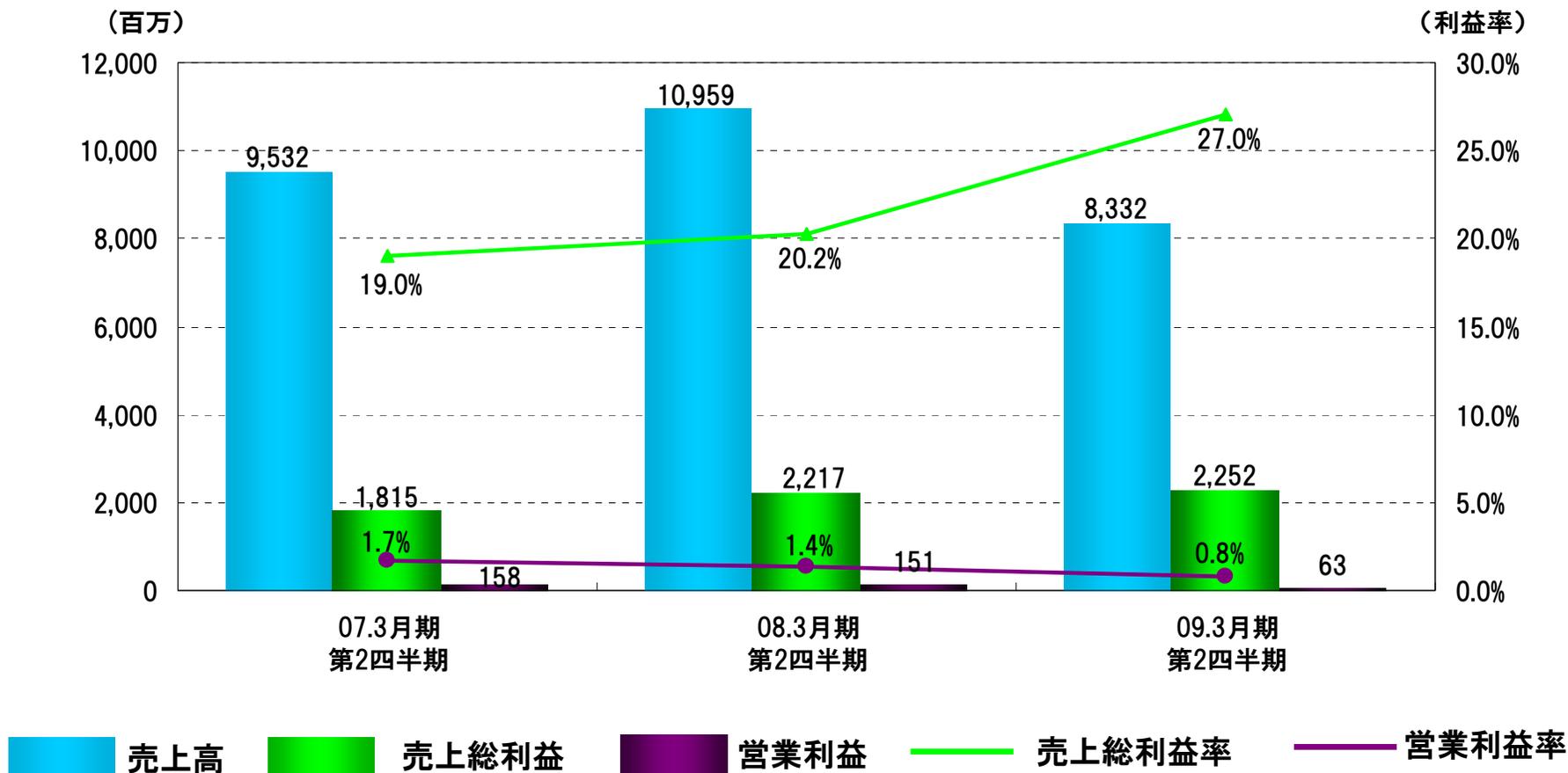
- 経常利益は、前年同期比△91百万円 (109百万円→18百万円)
- 特別損失は、貸倒引当金繰入額37百万円、固定資産除却損1百万円等を計上

(3)【連結】経常利益の状況

経常利益 ⇒ 前年同期比△91百万円 (109百万円→18百万円)



(4) 【連結】業績の推移



- ◆ 移動体通信事業の減収に伴い、【連結】売上高が減少
- ◆ 売上総利益率は改善するも、販管費負担から営業利益率は低下

3. 第2四半期【セグメント別】業績概要

(1) 【セグメント別】業績概要

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	08.3期 第2四半期	09.3期 第2四半期	前年 同期比(%)	08.3期 第2四半期	09.3期 第2四半期	前年 同期比(%)
移動体通信事業	9,827	6,820	69.4	485	390	80.4
ネットビジネス事業	851	1,156	135.8	91	72	78.6
IPソリューション事業	227	331	145.7	△62	△51	—
IT教育事業	41	53	127.5	△56	△17	—
人材コンサルティング 事業他 [※]	209	214	102.5	△30	△6	—

◆ 移動体通信事業は大幅減収減益

◆ 移動体通信事業以外の事業はネットビジネス事業を核として増収、赤字幅縮小基調

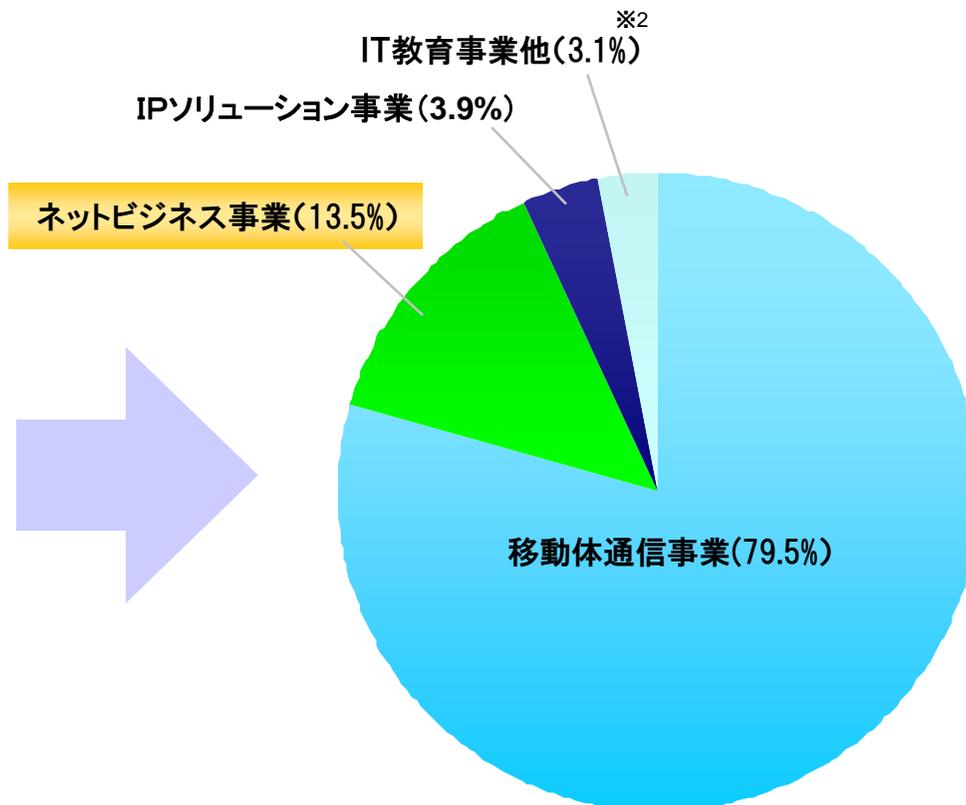
※ 人材コンサルティング事業、その他事業

(2) 【セグメント別】売上構成

ネットビジネス事業を核として移動体通信事業以外の事業の比率向上



08.3期第2四半期



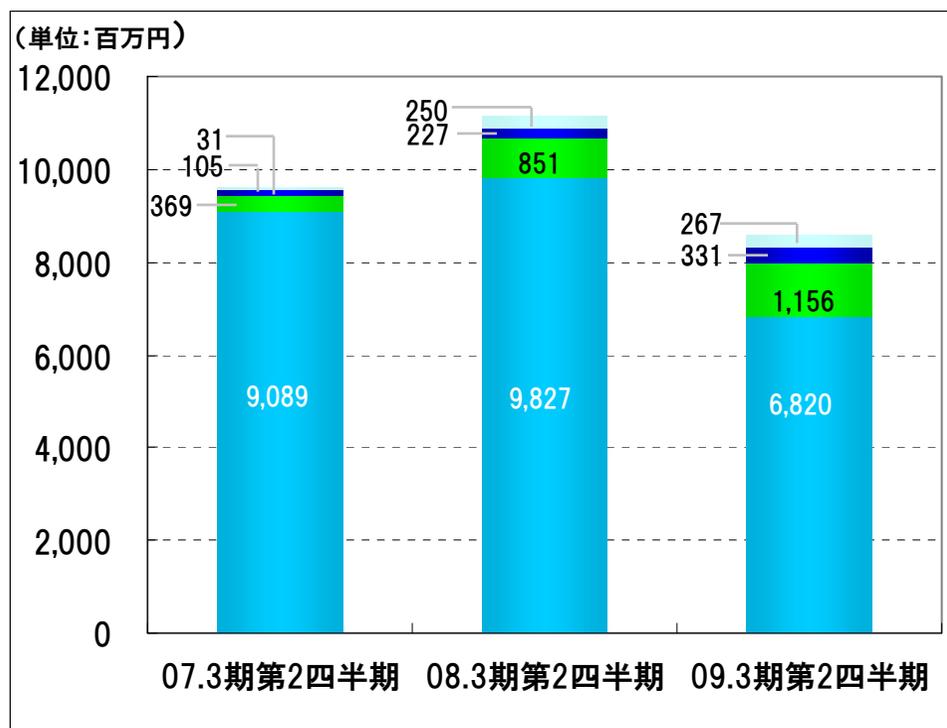
09.3期第2四半期

※1IT教育事業、その他事業

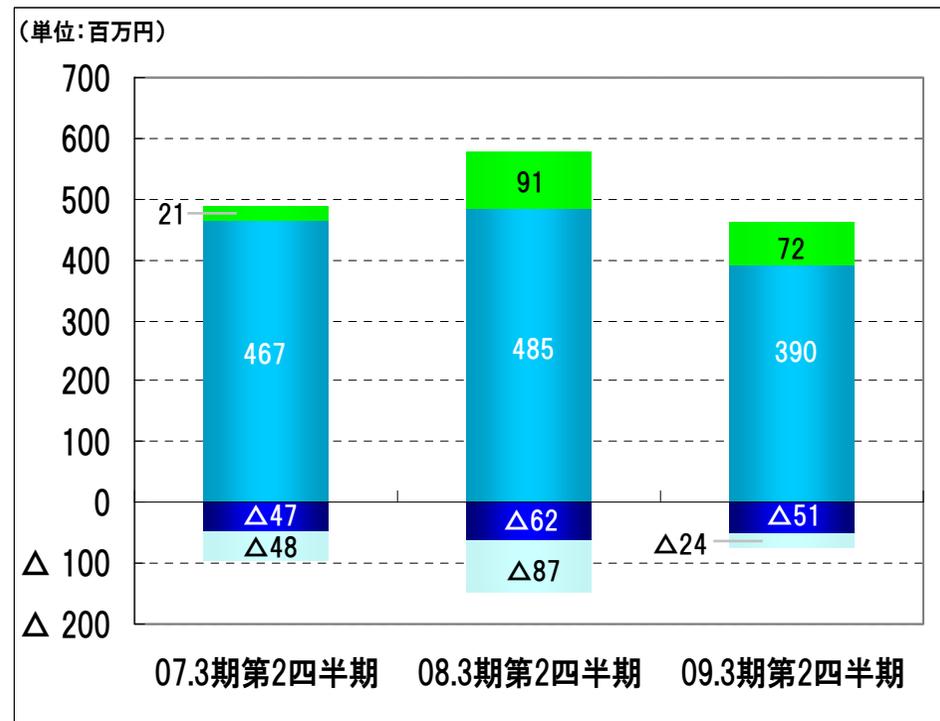
※2IT教育事業、人材コンサルティング事業、その他事業

(3) 【セグメント別】売上高・営業利益の推移

売上高



営業利益



■ 移動体通信事業
 ■ ネットビジネス事業

■ IPソリューション事業
 ■ IT教育事業他[※]

※IT教育事業、人材コンサルティング事業、その他事業

(4)【セグメント別】実績 ①移動体通信事業

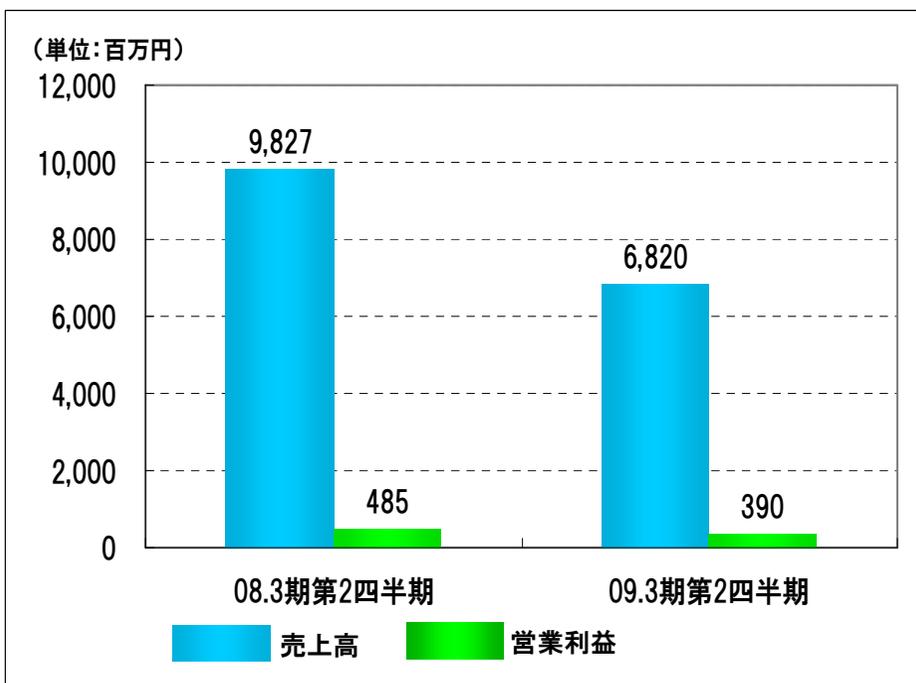
09.3期第2四半期 トピックス



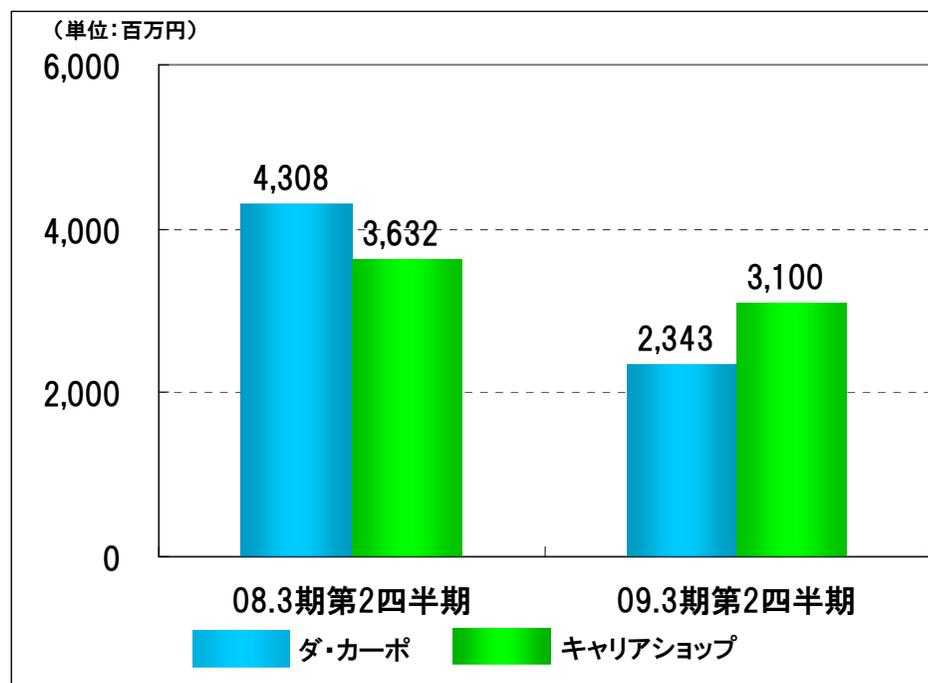
移動体通信事業は、減収減益

- ⇒ 価格訴求力低下により併売店「ダ・カーポ」の販売台数が大幅減少
- ⇒ 徹底した店舗運営効率の改善により営業利益率は向上 (4.9% → 5.7%)

売上高と営業利益の推移



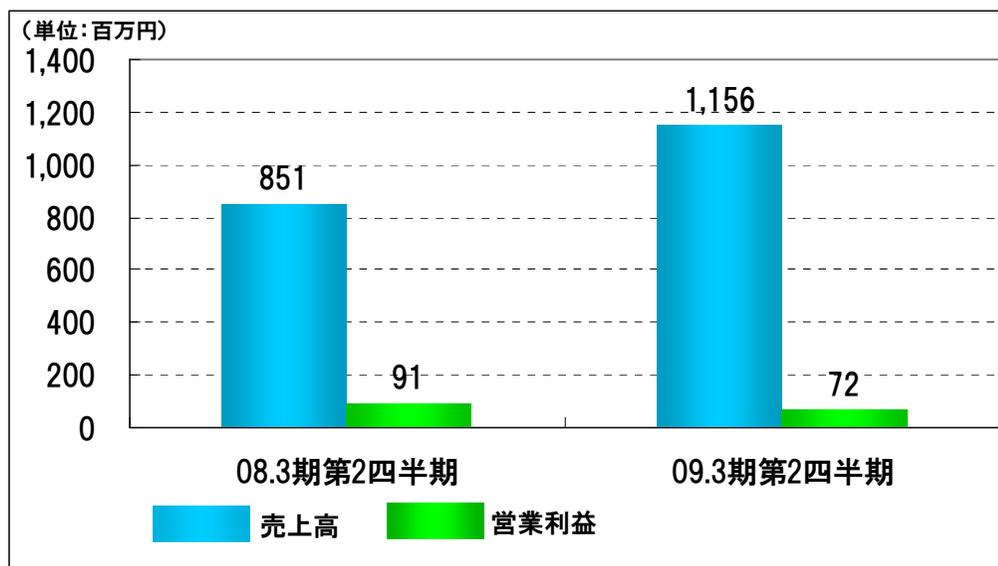
ダ・カーポ キャリアショップ別売上高推移



09.3期第2四半期 トピックス

- ネットビジネス事業は、増収減益、韓国ビジネス展開に足がかり
 - ⇒売上高は前年同期比+304百万円の増加
 - ▶ インターネット広告取扱高が堅調に推移
 - ⇒営業利益は前年同期比△19百万円の減益
 - ▶ 無形固定資産等の償却費負担増により減益
 - ⇒(株)ネプロアイティ、本年9月2日にKOSDAQへの上場申請承認済

売上高と営業利益の推移



(4)【セグメント別】実績 ③その他の事業

IPソリューション事業

09.3期第2四半期 売上高 331百万円 営業利益 △51百万円

09.3月期第2四半期 トピックス



増収・営業損失計上なるも、損失計上額自体は縮小

⇒売上高は、セキュリティ関連事業が牽引力となり前年同期比+104百万円の増加※

⇒営業損失は前年同期比+11百万円の縮小

※セキュリティ関連事業は08年4月よりIPソリューション事業にセグメント変更しております。

IT教育事業

09.3期第2四半期 売上高 53百万円 営業利益 △17百万円

09.3月期第2四半期 トピックス



増収・営業損失計上なるも、損失計上額自体は前年同期比で大幅縮小

⇒売上高は、CIW公式テキスト(日経BP社発行)の全国書店販売等により前年同期比+12百万円増加

⇒営業利益は、米国CIWライセンス料等の減価償却負担を吸収し切れず営業損失計上するも、営業損失計上額自体は前年同期比39百万円の縮小

人材コンサルティング事業

09.3期第2四半期 売上高 199百万円 営業利益 21百万円

09.3期第2四半期 トピックス



完全成果報酬型求人サイト「451039.jp」運営による外部顧客の獲得が売上増加に寄与

Ⅱ. 2009年3月期(第18期)通期業績見通し

- 1. 【連結】業績見通し** *Page15*
- 2. 【セグメント別】業績見通し** *Page16*

2. 【連結】通期業績見通し

(単位:百万円)

科目	2008年3月期 実績 構成比(%)	2009年3月期	
		通期予想 構成比(%)	前期比(%)
売上高	22,742 100.0	17,000 100.0	74.7
営業利益	688 3.0	400 2.4	58.1
経常利益	588 2.6	250 1.5	42.5
当期純利益	40 0.2	70 0.4	173.3

3. 【セグメント別】通期業績見通し

(単位:百万円)

セグメント	売上高			営業利益		
	08.3月期 実績	09.3月期 通期予想	前年同期比 (%)	08.3月期 実績	09.3月期 通期予想	前年同期比 (%)
移動体通信事業	19,842	13,600	68.5	1,117	970	86.8
ネットビジネス事業	2,071	2,300	111.1	314	140	44.6
IPソリューション事業	756	1,100	145.5	△57	60	—
IT教育事業	58	70	120.7	△157	△60	—
人材コンサルティング事業	419	460	109.8	44	70	159.1
その他事業	71	20	28.2	△63	△40	—

Ⅲ. 2009年3月期下期の施策について

- 1. 移動体通信事業 *Page18*
- 2. ネットビジネス事業 *Page19*
- 3. IPソリューション事業 *Page21*
- 4. その他の事業 *Page22*

09.3月期下期の方針

事業構造変革の積極推進

-  **ダ・カーポ:顧客の囲い込み**
⇒会員向けサービスの向上によりリピーターを獲得
-  **法人営業力の強化**
⇒グループ内顧客基盤、ネットワークの掘り起こし
-  **顧客満足に応える人材の育成**
⇒顧客に“プラスアルファ”を提供できる人材の育成に向けた研修強化

コスト構造変革の継続的な推進

-  **同業他社に負けないロー・コスト・オペレーション店舗運営**
⇒徹底したムダ取りと人材再配置の実施

2. ネットビジネス事業

09.3月期下期の方針(1)

日韓ビジネスの展開

-  KOSDAQへの上場準備
⇒本年9月2日に上場申請承認済み
-  韓国のIT技術導入による新しい収益モデルを構築中
⇒韓国における検索エンジン技術の国内商用化
⇒新しいアフィリエイトシステムの構築
-  韓国企業と日本企業のビジネスマッチング・センター化
⇒日韓調査ソリューションの推進

経営基盤の強化

-  上場準備に向けた内部管理体制の強化
⇒管理部門への人材補強
-  徹底したコストダウンの推進
⇒業務効率再評価によるコストダウン施策の継続実施
(事務所統合、業務委託先再評価等)

2. ネットビジネス事業

09.3月期下期の方針 (2)

事業基盤の強化

インターネット広告事業

-  新しいアフィリエイトシステムの導入によるクライアントの嵩上げ
-  低収益事業の整理による経営効率のアップと人的資源の効率的再配置

コンテンツ事業

-  会員獲得から収益獲得へのシフト
-  業務効率の再評価による収益体質の強化

09.3月期下期の方針

新・販売チャネルによる未開拓市場の掘り起こし。NTT東西の各支店との関係の再構築

-  **販売パートナー10社体制による拡販推進**
 - ⇒下期800台納入見込み
 - ⇒新しいビジネスモデルの構築による販売パートナーとの連携緊密化

-  **セキュリティソリューション営業の強化**
 - ⇒「データクレスス」のライセンス販売、「ファイル警備隊」販売を中心とした営業展開
 - ⇒Slerとの協業(NTTデータ、日立情報、富士電機ITソリューションなど)による、官公庁、地公体、教育機関へのアプローチ強化

-  **IP電話を核にネットワークソリューションを提案**
 - ⇒NTT東西向けひかり電話ビジネスタイプにおけるシェア拡大
 - ⇒NTT営業専門部隊によるNTT東西各支店との連携強化

4. その他の事業

09.3月期下期の方針

IT教育事業

CIWカリキュラムをベースとした検定試験事業の立上げに注力し、「国内標準」を目指す



(仮称)日本ITスキル検定の立ち上げ準備

⇒財団法人との提携による事業の拡大



学校法人、一般企業向けにCIWカリキュラム販売強化

⇒CIWの認知度向上と収益の下支えを強化するため、営業活動を強化

人材コンサルティング事業

グループ外部売上の取込み



グループ外売上の取込み

展開地域:北関東

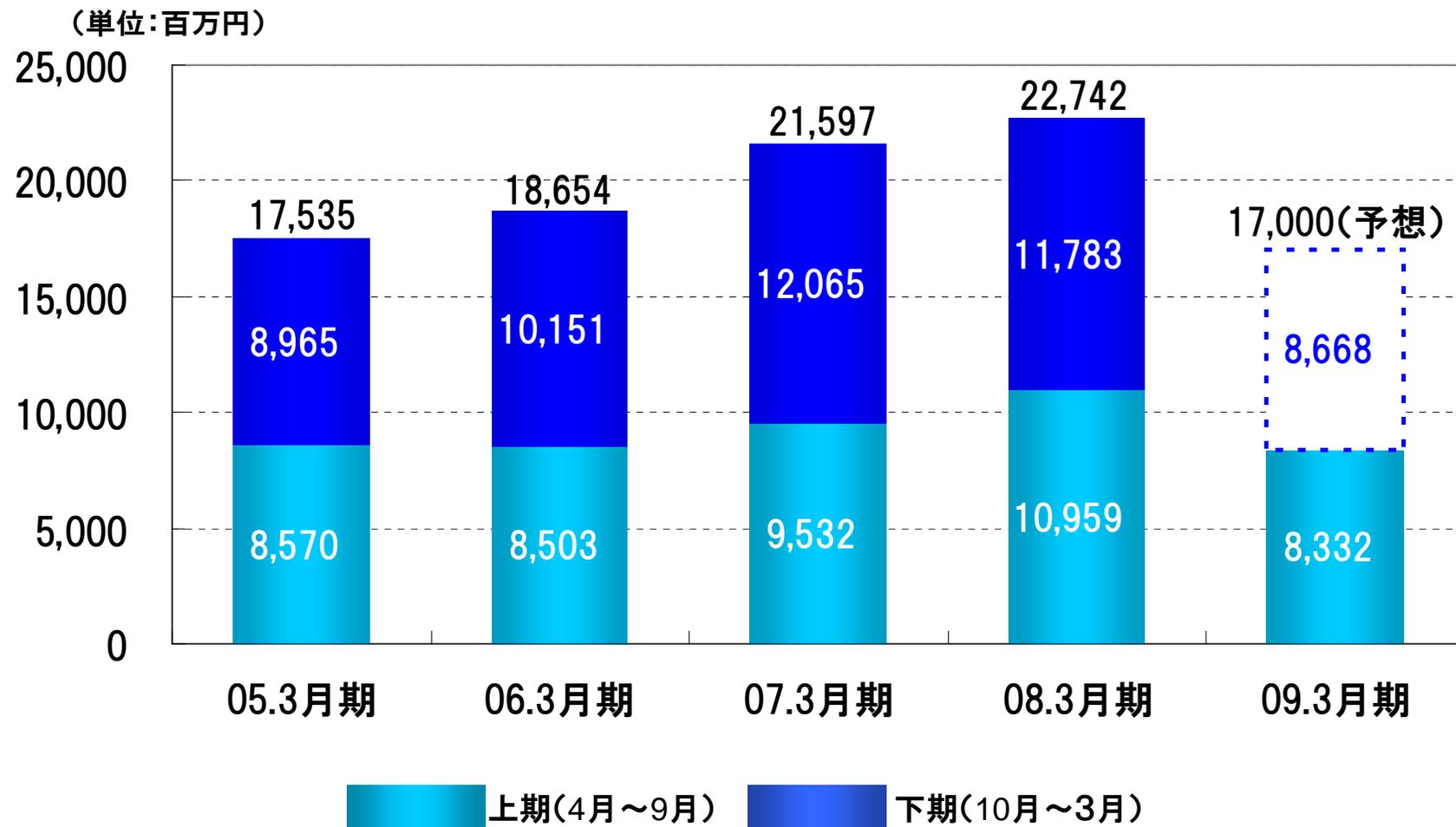
展開方法:人材派遣⇒完全成果報酬型求人サイト「451039.jp」を使ったマッチング件数のアップ
人材コンサルティング⇒人事制度構築から人材育成・定着率向上を目的としたコンサルティングの受注を目指す



登録無料！完全成果報酬型求人サイト

補足資料

参考データ①【連結】通期売上高の推移・見通し



参考データ②【連結】貸借対照表概要

(単位:百万円)

決算期		08.3期第2四半期末		09.3期第2四半期末	
			構成比 (%)		構成比 (%)
資産の部	流動資産	6,018	68.6	4,224	49.9
	現預金	1,154		495	
	受取手形及び売掛金	2,134		1,811	
	たな卸資産	2,202		1,357	
	その他	483		564	
	固定資産	2,745	31.3	4,264	50.3
	有形固定資産	449	5.1	427	5.0
	無形固定資産	1,253	14.3	1,705	20.1
	投資その他資産	1,042	11.9	2,112	24.9
	繰延資産	6	0.1	2	0.0
資産合計		8,770	100.0	8,472	100.0
負債の部	流動負債	5,339	60.9	3,558	42.0
	固定負債	1,195	13.6	2,263	26.7
	負債合計	6,534	74.5	5,822	68.7

決算期		08.3期第2四半期末		09.3期第2四半期末	
			構成比 (%)		構成比 (%)
純資産の部	資本金	590	23.2	590	26.4
	資本剰余金及び利益剰余金	1,440		1,652	
	自己株式	—		△7	
	株主資本	2,031		2,235	
	評価換算差額等	△1	—	△27	—
	少数株主持分	205	2.3	441	5.2
	純資産合計	2,235	25.5	2,649	31.3
	負債・純資産合計	8,770	100.0	8,472	100.0

参考データ③【連結】キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	08年3月期 (第2四半期)	08年3月期 (通期)	09年3月期 (第2四半期)	増減の要因 (対前期末比)
営業活動によるCF	△639	159	486	<ul style="list-style-type: none"> ・売上債権減少 918百万円 ・仕入債務減少 605百万円 ・減価償却費 339百万円 ・法人税支払 321百万円
投資活動によるCF	△432	△1,765	△825	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産取得 401百万円 ・貸付金 233百万円
財務活動によるCF	1,575	1,878	△89	<ul style="list-style-type: none"> ・借入金返済 857百万円 ・長期借入 900百万円
現金及び現金同等物の 四半期残高	1,144	914	485	—

参考データ④【移動体通信事業】月次携帯販売台数

(単位:台)

月	08年3月期 (第2四半期)	09年3月期 (第2四半期)	前期比(%)
4月	25,987	16,549	63.7
5月	21,330	13,345	62.6
6月	25,697	17,271	67.2
7月	27,327	15,321	56.1
8月	25,343	15,336	60.5
9月	22,882	12,423	54.3
累計	148,566	90,245	60.7

IR広報室 お問い合わせ窓口

TEL 03-6803-3975

FAX 03-6803-3971

Email ir@neproit.com

URL <http://www.nepro.jp>

- ・当該資料におけるセグメント別売上高、営業利益のデータは、連結仕訳以前のものになります。
- ・当該資料における業績見通し等の将来に関する記述は、作成時時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
- ・当該資料は弊社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず目論見書をご覧頂いたうえで、投資家ご自身の判断で行うようお願い致します。